

町 長	副町長	課 長	主 幹	スタッフ	合 議



平成 2 9 年度第 1 回
上富良野町総合教育会議 会議録



平成 2 9 年 1 2 月 2 5 日

平成 29 年度第 1 回上富良野町総合教育会議会議録

- 1 開催日時 平成 29 年 12 月 25 日(月)
- 2 開催場所 上富良野町役場 3 階第 3 会議室
- 3 出席した者 構成員 (6 名)
- | | |
|----------------|---------|
| ・上 富 良 野 町 長 | 向 山 富 夫 |
| ・上富良野町教育委員会教育長 | 服 部 久 和 |
| ・上富良野町教育委員会委員 | 菅 野 博 和 |
| ・上富良野町教育委員会委員 | 三 熊 邦 彦 |
| ・上富良野町教育委員会委員 | 吉 村 好 子 |
| ・上富良野町教育委員会委員 | 佐 藤 大 輔 |
- 事務局他 (6 名)
- | | |
|----------------|---------|
| ・総 務 課 長 | 宮 下 正 美 |
| ・総務課総務班主任幹 | 床 鍋 のぞみ |
| ・総務課総務班主任事 | 佐藤根 祥 太 |
| ・教育振興課長 | 北 川 和 宏 |
| ・教育振興課学校教育班主任幹 | 安 井 民 子 |
| ・教育振興課社会教育班主任幹 | 谷 口 裕 二 |
- 4 協議事件 (1) 平成 30 年度教育大綱の重点施策を実現するための取組・課題
について
(2) その他
- 5 開会宣言 午後 3 時 00 分
- 6 あいさつ 省略
- 7 協議事件の要旨 次のとおり

発言者	協議事件の要旨及び内容
北川課長	(1)平成 30 年度教育大綱の重点施策を実現するための取組・課題について ・別紙教育大綱に掲げる重点施策の現状及び 30 年度の取組について説明 (内容省略)
向山町長	・国際交流の見直しについて、新たに指導者を充実するといった内容か。

北川課長	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで、姉妹都市の交流としてカムローズ市に3年に1回中高生を派遣しホームステイを実施していたが、カムローズ市より今後はホームステイの受け入れが困難になったとのことで、昨年は交流の中でホームステイを行わなかった。この事業については、姉妹都市の交流という観点のほか英語に触れる機会を設けた人材育成の観点もあるため、平成30年度から外国語研修を中心とした人材育成事業にしていきたい。民間企業が行っている1～2週間の短期ホームステイなどを活用していきたいと考える。
服部教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、今回変えなければならないと考えたのは、今後ホームステイができなくなったが、新学習指導要領によりグローバル社会における英語のウエイトが高くなってきており、子どもたちにどうやって英語に関心を持ってもらうかを考えたときに一生懸命やればこういうところに行けるチャンスがあるのだという仕組みを作る必要がある、ということである。3年に1度12～13人派遣していたので、単年度であれば4人程度派遣できると考える。高校生だと学んできたことを広める場を設けられないため、中学生のみでもいいと考えており、英語を好きになる機会を増やしたいと考えるが、検討しなければならない点もある。人材育成ということもあるが、英語教育で目玉をどこに持って取り進めていくかとなると、語学力に重点を置くことが必要と認識していることから、海外研修を提案する。
向山町長	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで取り組んできたのは、青少年のみなさんに海外を知ってもらおうということで「交流」に軸足を置いていたが、国は「語学力」を重視している実態もある。私としては「交流」が大きな要素であると考えており、親に歓迎してもらえるような制度にしていきたいと考える。
向山町長	<ul style="list-style-type: none"> ・国の働き方改革の中で、部活動を持っている先生のオーバーワークが課題になっているかと思うが、それらの改善について本町において計画があるか。
服部教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・本町においては、月に1度は部活動を含むノー残業デーを推奨しているが、実施率が上がっていないのが現状である。新年度においては、北海道が実行プランを作成するため、それを見ながら進めなければならないと考えている。また、計画としては、全国的な取り組みとして、校長・教頭も含めた全教員に夏休み中のお盆時期に休暇を取ってもらい、児童生徒が休みの時期に先生方にもしっかり休んでもらう取り組みで、上川管内でも5自治体で取り組む予定がある。また、全国的には部活動の顧問を外部委託するといった意見も出ているが、人材が限られている田舎では進まないのが現状であり、一方で、一生懸命やりたい先生もおり、本人としては問題と認識していないが、外部から働きすぎとの声が出ることもある。質を高めようとするとうとうしても時間はかかる。
向山町長	<ul style="list-style-type: none"> ・現場から部活動の指導ができませんなどの声はあるか。
服部教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・逆に部活動を土日にできないかとの話があり、部活動の時間を規制するなど働き方を変える動きがなければ変えられないところがある。また、新指導要領による影響や町から依頼する作品展の審査や作文の作成などがあると、負担に

向山町長	<p>なっている。ICTが進めば資料の作成に要する時間等が軽減されるのではないかと考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の大綱は平成30年度で区切りとなり、平成31年から新たに大綱変わるので、平成30年度については成果を出していく年になるかと思う。委員よりご意見をいただきたい。
三熊委員	<ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力の向上について、個に応じた指導の充実とあるが、他町村において実績があると聞いており、学習指導員を配置するのであれば、どれぐらいの人数を配置するのか。
北川課長	<ul style="list-style-type: none"> ・配置は上小の1年生の学級を想定している。支援員は本来教員免許を持っている人が望ましいが、サポートができる人がいるだけで違うと思われる。低学年から授業に集中することを習慣づけていくことが大切かと思う。
向山町長 服部教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・加配の対象にならないか。 ・40人学級が基本で1,2年生は35人が加配。配置基準は満たしており、財源がないため不要と考えていたが、現場を見るとそうではなく、また、沿線市町村において指導員の配置により成果をあげているところがあることから、費用は掛かるが成績を上げるためには必要と考えている。また、今回においては就学時健診において特別支援や経過観察が必要な児童が多かったということもある。
向山町長 服部教育長 安井主幹 三熊委員 向山町長 吉村委員 向山町長	<ul style="list-style-type: none"> ・スクラムから読み取れないのか。 ・先天的・後天的の判断が難しい。漏れる子もいる。 ・会話する中で多弁な子だと判断が難しい。 ・町の予算的な話はどうか。 ・国の新年度の予算の兼ね合いもあるが、大事なことだと受け止めている。 ・国外交流について、海外の生活を体験する機会をぜひ与えてほしい。 ・語学力だけではなく広い視野を持たすことは必要と考えるので、そういった思いを行政に反映させたいと考える。
谷口主幹	<ul style="list-style-type: none"> ・民間で行っている研修事業を活用することで、語学だけではなく、中身の濃い生活体験ができると思われるので、補助率等参加しやすい環境づくりも含め事業化に向けて取り組みたい。
向山町長 佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・カムローズにおいてホームステイの受け入れ態勢が難しいのは理解しているので、従来のような交流の面においては民間にお願いできればと思う。 ・先生の負担について、熱心に少年団を指導されていた先生が異動され、後任の先生が子育て中で指導に時間が取れず、保護者から不満が出ている。現在指導されている先生から外部に監督をお願いするなど負担を軽減できる方法はないかと相談されており、少年団の活躍が町の活性化につながるのであれば、指導・運営を保護者や外部の方にしてもらうなど、管理監督する組織づくりが必要ではないか。町ぐるみで少年団活動に関して考えていただきたいと思う。
向山町長	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育現場のサポートも望まれているが、学校外の活動も人材不足で先生

菅野委員	に頼らざるを得ない状況にあることは将来的にも危惧されるので、町が主導的に取り組む手法については今後検討していきたい。
向山町長	・学習支援員がいることにより、低学年のうちに習慣づけられるので配置についてご配慮をお願いしたい。
向山町長	・他の町村で実施されており、低学年からの習慣づけが非常に重要だと認識したので実現できるようにしたい。
構成員（全員）	・その他意見等何かあるか。 （特になし）
向山町長	・事務局から何かあるか。
北川課長	・本大綱は平成30年度までであり、来年度はこの会議で新たな大綱の策定作業が必要になる。

8 閉会宣言 午後4時20分

上記会議の経過は、書記の調整したものであるが、その内容の正確なることを証するため、ここに署名する。

平成30年1月12日

上 富 良 野 町 長

上富良野町教育委員会教育長